



信州スイッチラボ

第17回 研修会 + 製作講習会

日時

2017年5月20日（土）10時～16時30分（受付9時30分～）

会場 長野大学2号館302・303教室

上田市下之郷658-1

参加費 500円（材料費別途）

日程

（受付 9時30分～）

10時～10時30分

研修① 電気の基礎 その13（講師 伊藤英一先生 長野大学）

10時30分～11時

研修② 「3Dプリンターで作るVOCAケース その2」（青木高光先生 稲荷山養護）

長年支援機器とともに歩んできた青木高光氏。前回スイッチラボでは氏が現在試作し、実用化を目指している3Dプリンタによるボカ作りについてご紹介いただきました。今回はその続編です。

11時～11時30分

研修③ レトロ支援技術のご紹介（杉浦徹 特別支援教育総合研究所）

近年の支援技術はタブレットに代表されるように、クリアかつスマートなものに変化。それは時代の流れとして望ましい。しかし、とってしまうのがスイッチラボ参加者。そんな時、「Assistive Technology Solutions in minutes」という本を見つけました。あるものでどうにかしちやえ的なジャンクなノリ。その一端をご紹介します。

昼食休憩

12時30分～16時30分

研修④ おもちゃの改造方法（基本編）

今回はハードな製作技術を要したお酌マシン。それはそれで有意義な時間でしたが、もっとシンプルなおもちゃでも子どもたちの活動を支援することはできます。ハイテク、ローテクの如何ではなく、コミュニケーションを生み出せばそれは支援機器です。今回は簡単な電池のおもちゃの改造をしましょう。これができれば、同様の仕組みなら改造が可能になります。初心者にもわかりやすく説明します。

研修⑤ おもちゃの製作等（自由製作）

製作可能な機器

- ① 簡単VOCA（10秒、20秒）
 - ② おもちゃの改造
 - ③ スイッチ（プッシュ、フレキシブル）
 - ④ 振動するおもちゃ等
- その他のご希望には、ご相談にのります。

※改造用のおもちゃ等は若干ご用意がありますが、ご自分でお持ちいただいた方が確実かと思われまます。

18時～ 上田駅前にて懇親会

（希望者のみです。会場会費等は当日お知らせします）

※宿泊の斡旋は行いません。各自でお願いします。ごめんなさい。

お願い

- ① 半田ごてや工具類はできるだけご自分でご用意下さい。
- ② ケガ等への対応ができません。自信のない方は絆創膏等ご用意下さい。
- ③ 不明な点はtoru6848@gmail.comにお尋ね下さい。
- ④ 製作に要した材料費は自己申告でお支払いいただきます。その際、おつり等の対応が難しいので予め小銭をお持ち下さい。
- ⑤ 信州スイッチラボのブログでこの研修についてお知らせすることがあるかもしれません。時々ご覧下さい。
- ⑥ 参加申し込みは「信州スイッチラボ」のブログから申し込んで下さい。